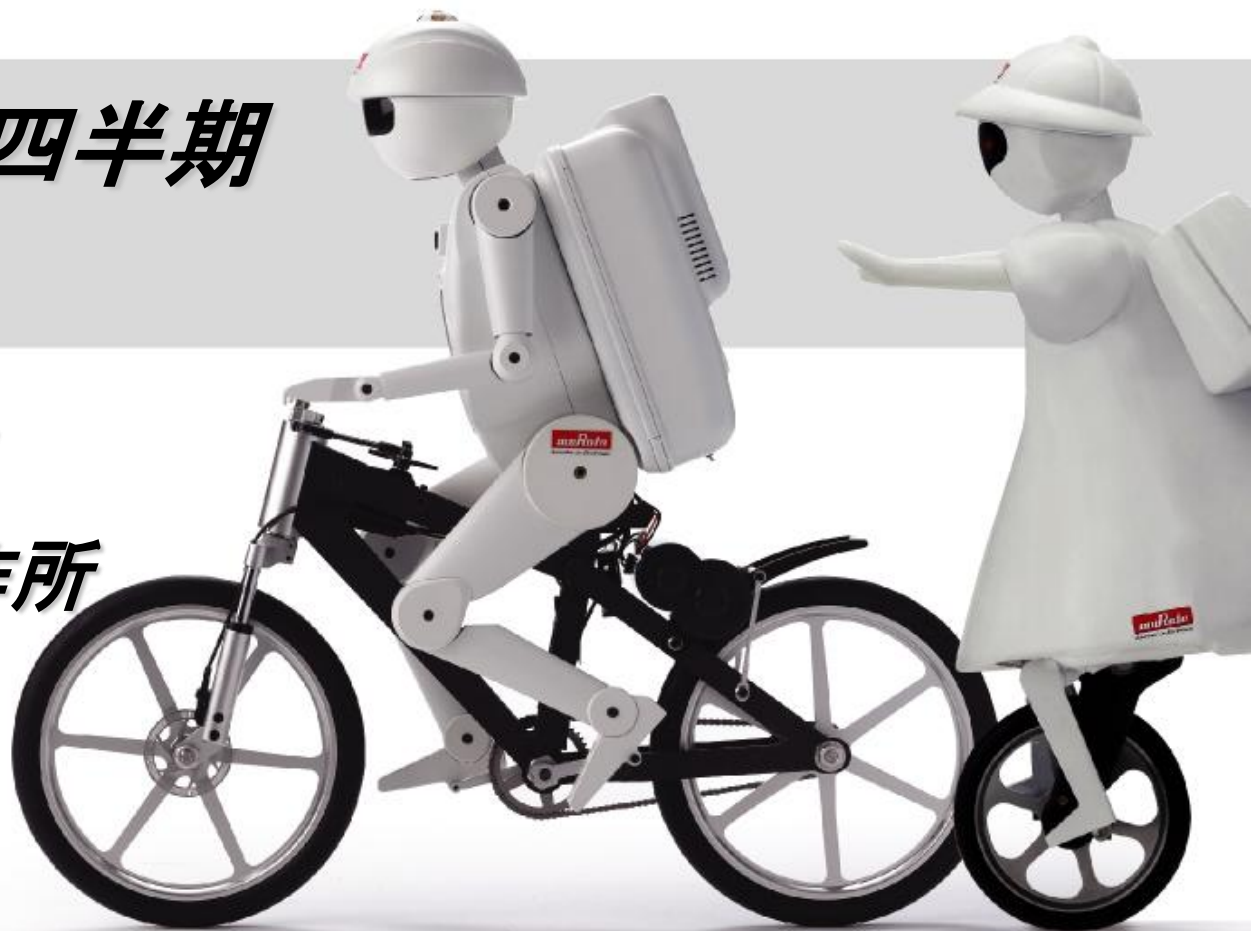


2012年度第1四半期 決算説明会

2012年7月31日
株式会社村田製作所



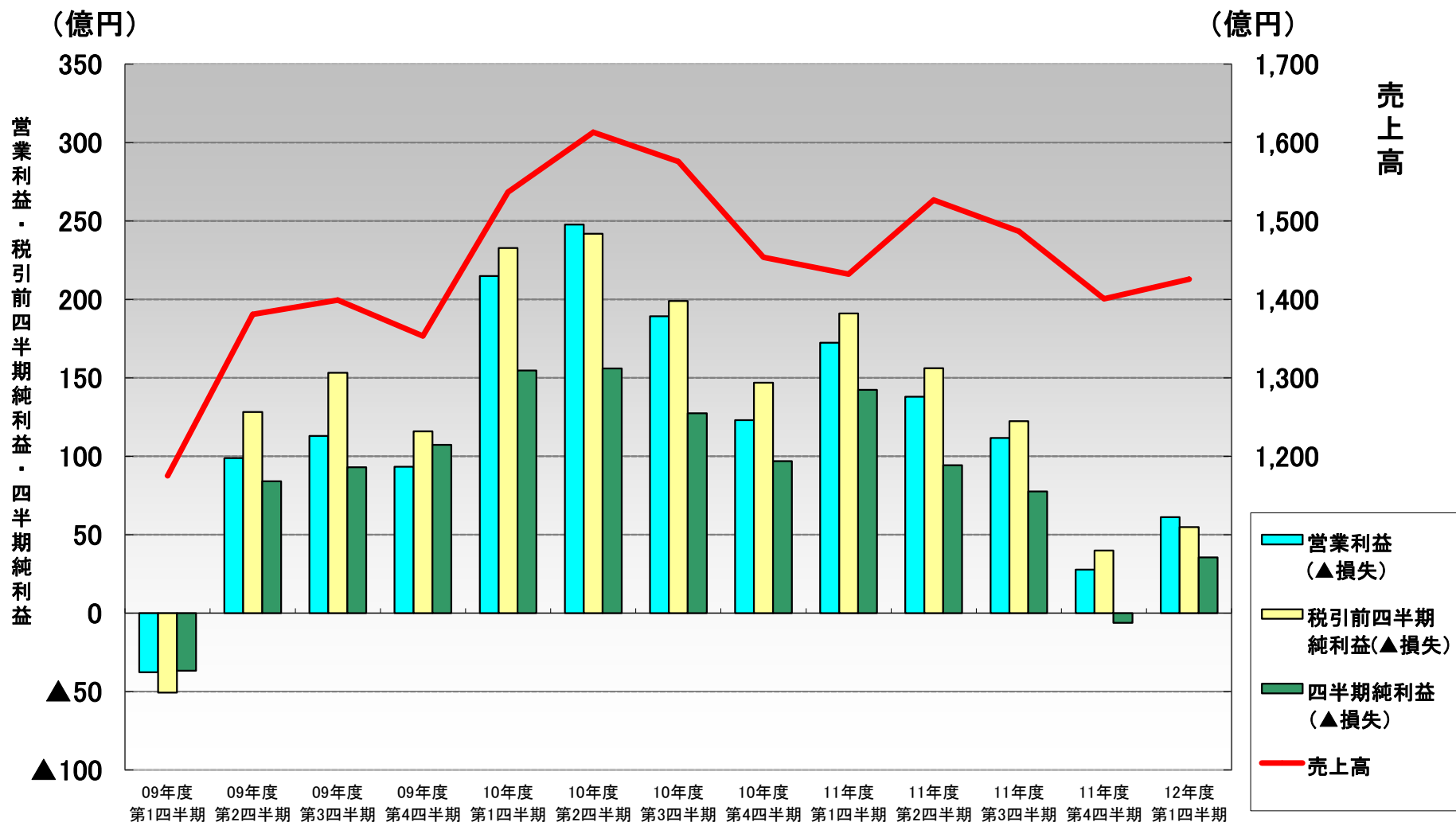
1. 2012年度 第1四半期業績概要

**2012年4月～2012年6月
第1四半期連結会計期間**

当第1四半期決算のトピック

- ◆ 受注は、YoY+18.3%、QoQ+13.9%と通信モジュール、コンデンサなどで力強い動き。第2四半期からのスマートフォン、タブレット端末、ノートPC等の新製品の生産本格化に向けて、順調に回復している。
- ◆ 売上は、主力の通信向けが得意先各社のモデル切り替えの端境期で、近距離無線通信モジュールなど低調に推移した。
- ◆ 利益は、第2四半期以降の売上拡大に備えた生産能力の増強や企業買収に伴う固定費増加の影響を受けた。

業績推移(四半期)

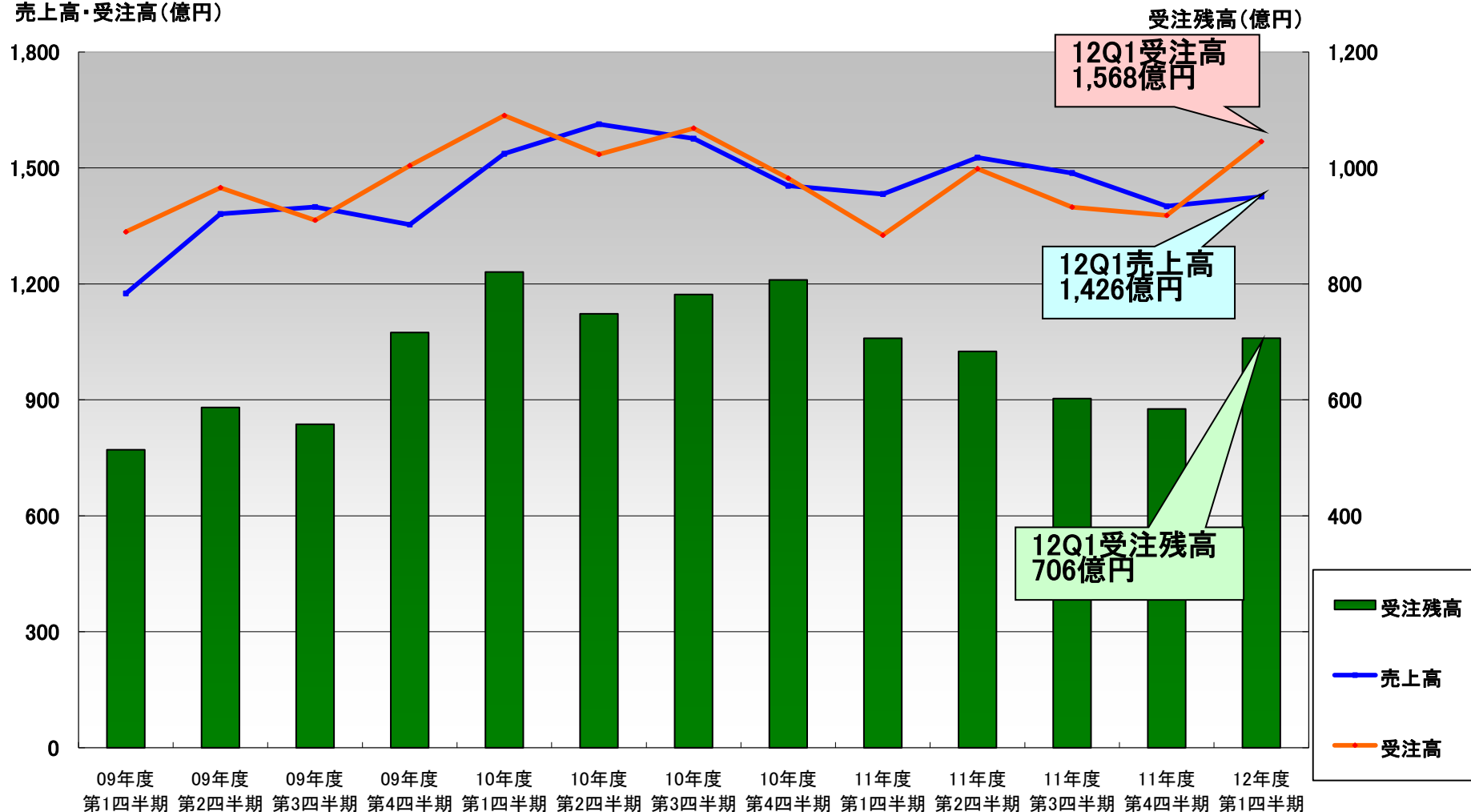


業績概況

	2011年度 第1四半期		2011年度 第4四半期		2012年度 第1四半期		前年同期比 12Q1/11Q1		直近四半期比 12Q1/11Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	1,432	100.0	1,401	100.0	1,426	100.0	▲7	▲0.5	+25	+1.8
営業利益	172	12.0	28	2.0	61	4.3	▲111	▲64.6	+33	+119.9
税引前 四半期純利益	191	13.3	40	2.8	55	3.8	▲136	▲71.3	+15	+37.6
四半期純利益	142	9.9	▲6	▲0.4	36	2.5	▲107	▲75.0	+42	—

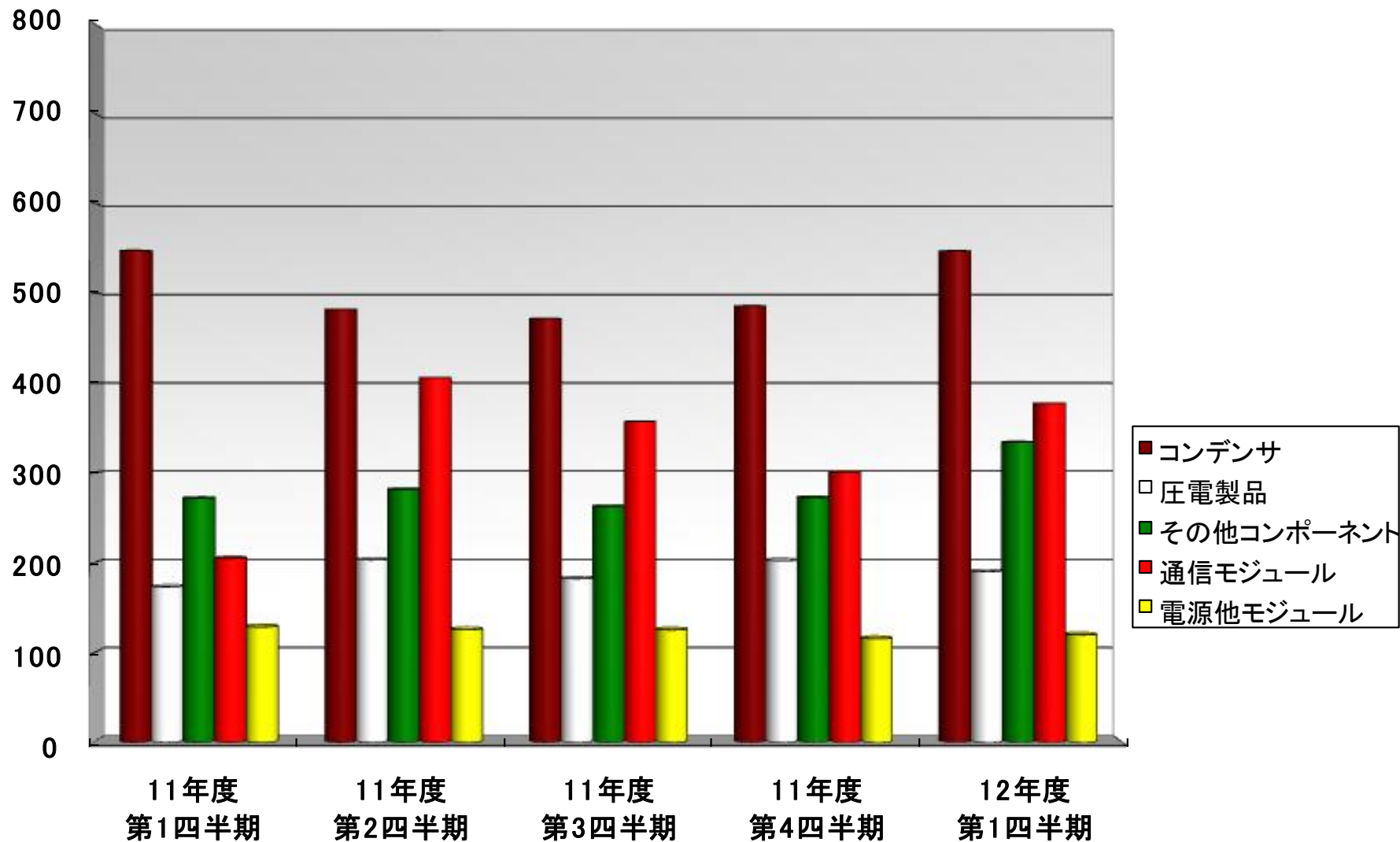
売上・受注・注残推移(四半期)

売上高・受注高(億円)



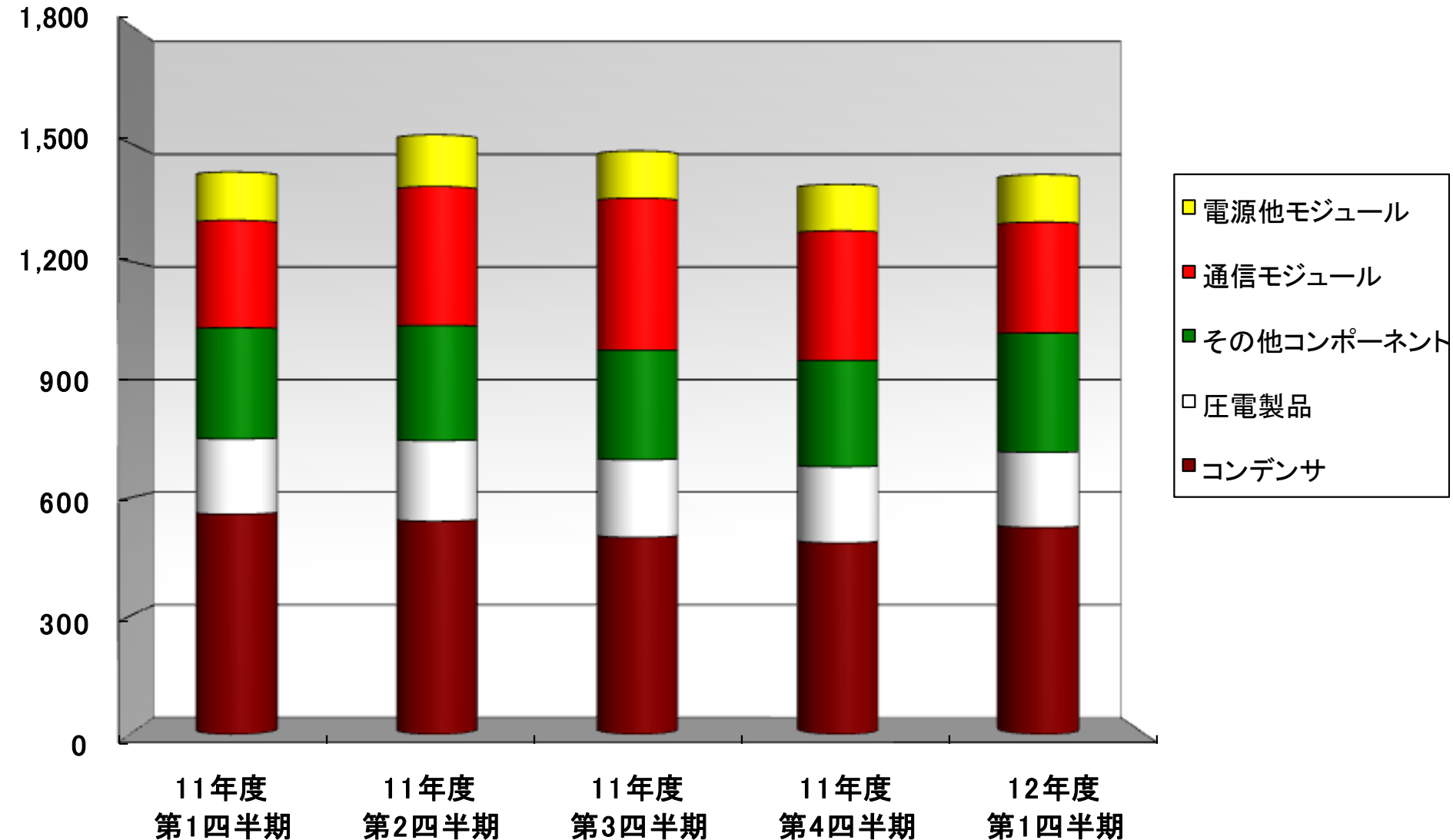
製品別受注高推移

(億円)



製品別売上高推移

(億円)



製品別売上高

	2011年度 第1四半期		2011年度 第4四半期		2012年度 第1四半期		前年同期比 12Q1/11Q1		直近四半期比 12Q1/11Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	558	39.1	485	34.8	524	36.9	▲34	▲6.1	+39	+8.0
圧電製品	191	13.4	193	13.9	191	13.5	▲0	▲0.1	▲2	▲1.2
その他 コンポーネント	282	19.8	270	19.3	303	21.3	+21	+7.4	+33	+12.2
通信モジュール	273	19.1	329	23.6	281	19.8	+9	+3.2	▲48	▲14.5
電源他 モジュール	123	8.6	117	8.4	121	8.5	▲2	▲1.7	+3	+2.7
製品売上高計	1,427	100.0	1,395	100.0	1,420	100.0	▲7	▲0.5	+25	+1.8

製品別売上高概況

(2011年度第1四半期→2012年度第1四半期)



コンデンサ (前年同期比▲6.1%)	<チップ積層セラミックコンデンサ> カーエレ向けで大幅増加も、その他用途が振るわず、全体では減少
圧電製品 (前年同期比▲0.1%)	<表面波フィルタ> 通信モジュール向け(社内取引)の割合の増加で、社外向けは減少 <セラミック発振子> カーエレ向け好調 <圧電センサ> タイ洪水からの復旧に伴う反動増で、HDD向け衝撃検知用センサ堅調
その他コンポーネント (前年同期比+7.4%)	<EMI 除去フィルタ> 薄型テレビ、基地局向けで振るわず <コイル> 携帯電話、タブレット端末、カーエレ向け高周波コイルは増加も、 その他が減少し、全体では微減 <センサ> 買収したMEMSセンサの追加で大幅増
通信モジュール (前年同期比+3.2%)	<近距離無線通信モジュール> スマートフォン、携帯メディアプレイヤー向けで低調 <通信機器用モジュール> 買収したパワーアンプ事業の追加で大幅増
電源他モジュール (前年同期比▲1.7%)	<電源> カーエレ向けで好調も、その他用途が振るわず、全体では減少

製品別売上高概況

(2011年度第4四半期→2012年度第1四半期)



コンデンサ (直近四半期比+8.0%)	<チップ積層セラミックコンデンサ> タブレット端末、ノートPC向けを中心に、全用途で増加
圧電製品 (直近四半期比▲1.2%)	<表面波フィルタ> 各社のスマートフォンのモデル切り替えによる端境期で減少
その他コンポーネント (直近四半期比+12.2%)	<センサ> 買収したMEMSセンサの追加で大幅増
通信モジュール (直近四半期比▲14.5%)	<近距離無線通信モジュール> 各社のスマートフォンのモデル切り替えによる端境期で減少
電源他モジュール (直近四半期比+2.7%)	<電源> PC及び関連機器向け好調

用途別売上高推移

(億円)

1,800

1,500

1,200

900

600

300

0

11年度
第1四半期

11年度
第2四半期

11年度
第3四半期

11年度
第4四半期

12年度
第1四半期

- 家電・その他
- カーエレクトロニクス
- コンピュータ及び関連機器
- 通信
- AV

(注) 当社推計値に
基づいております

用途別売上高

	2011年度 第1四半期		2011年度 第4四半期		2012年度 第1四半期		前年同期比 12Q1/11Q1		直近四半期比 12Q1/11Q4	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
AV	151	10.6	117	8.4	109	7.7	▲42	▲27.9	▲8	▲6.8
通信	603	42.3	636	45.6	572	40.3	▲31	▲5.1	▲64	▲10.0
コンピュータ及び 関連機器	290	20.3	273	19.5	311	21.9	+22	+7.5	+39	+14.2
カーエレクトロニクス	188	13.2	239	17.1	231	16.2	+42	+22.4	▲8	▲3.4
家電・その他	194	13.6	131	9.4	197	13.9	+3	+1.4	+66	+50.3
製品売上高計	1,427	100.0	1,395	100.0	1,420	100.0	▲7	▲0.5	+25	+1.8

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

(2011年度第1四半期→2012年度第1四半期)



AV (前年同期比▲27.9%)	<薄型テレビ> セットの生産台数減から、電源、MLCCが減少 <携帯メディアプレイヤー> セットの生産台数減から、近距離無線通信モジュール減少
通信 (前年同期比▲5.1%)	<携帯電話> 通信機器用モジュール、高周波コイル、コネクタが増加 <基地局> 高周波コイル、表面波フィルタが減少 <データカード> 多層デバイス、表面波フィルタが減少
コンピュータ及び 関連機器 (前年同期比+7.5%)	<タブレット端末> MLCC、通信機器用モジュールが増加
カーエレクトロニクス (前年同期比+22.4%)	MLCC、Bluetoothモジュールが増加

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

(2011年度第4四半期→2012年度第1四半期)

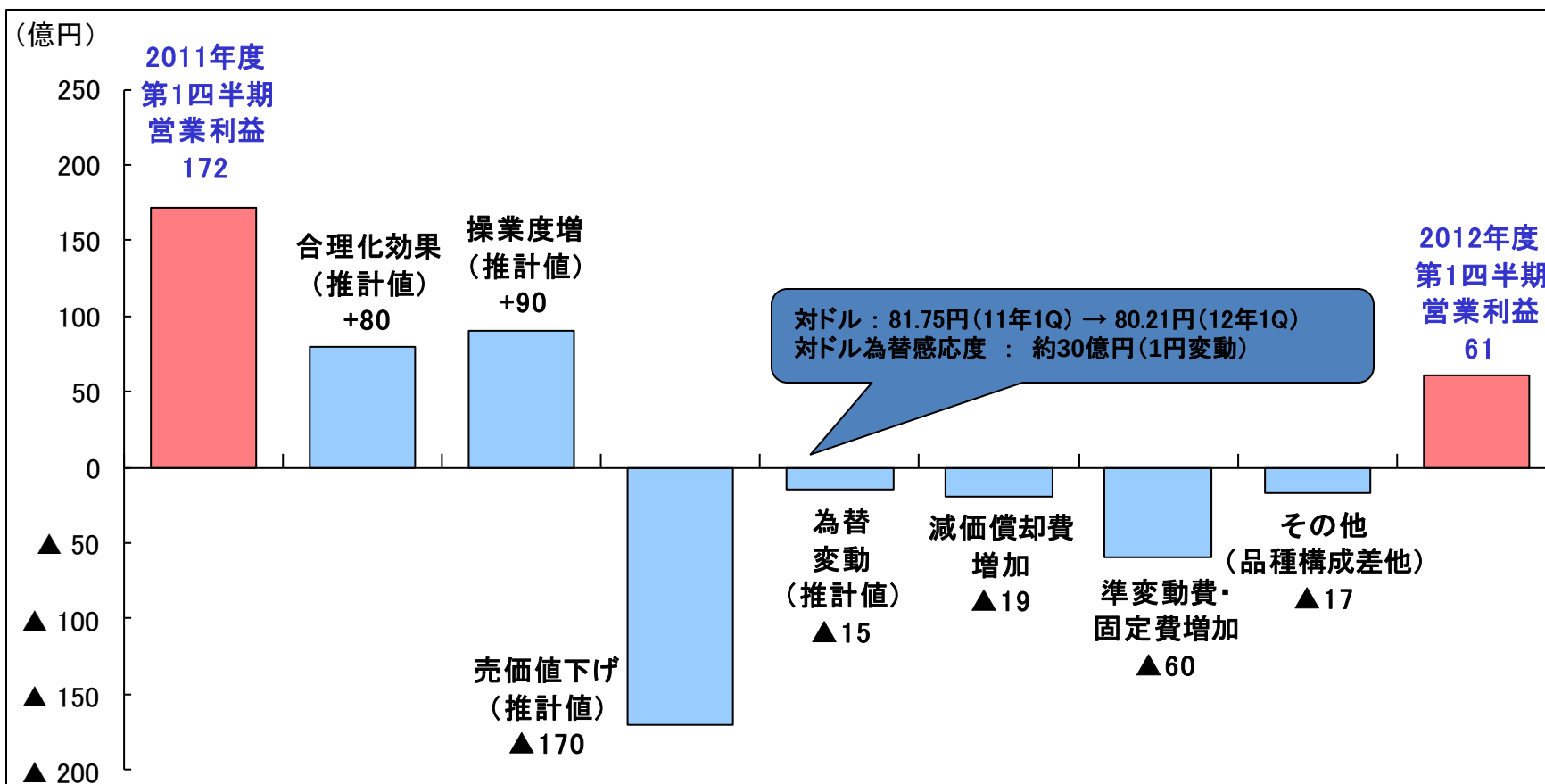


AV (直近四半期比▲6.8%)	＜携帯メディアプレイヤー＞ セットの生産台数減から、近距離無線通信モジュール減少
通信 (直近四半期比▲10.0%)	＜携帯電話＞ 各社のスマートフォンのモデル切り替えの端境期で、 近距離無線通信モジュール、表面波フィルタ、高周波コイル減少
コンピュータ及び 関連機器 (直近四半期比＋14.2%)	＜タブレット端末＞ MLCC、通信機器用モジュールが増加 ＜ノートPC＞ MLCC増加
カーエレクトロニクス (直近四半期比▲3.4%)	Bluetoothモジュール減少

(注) 当社推計値に基づいております

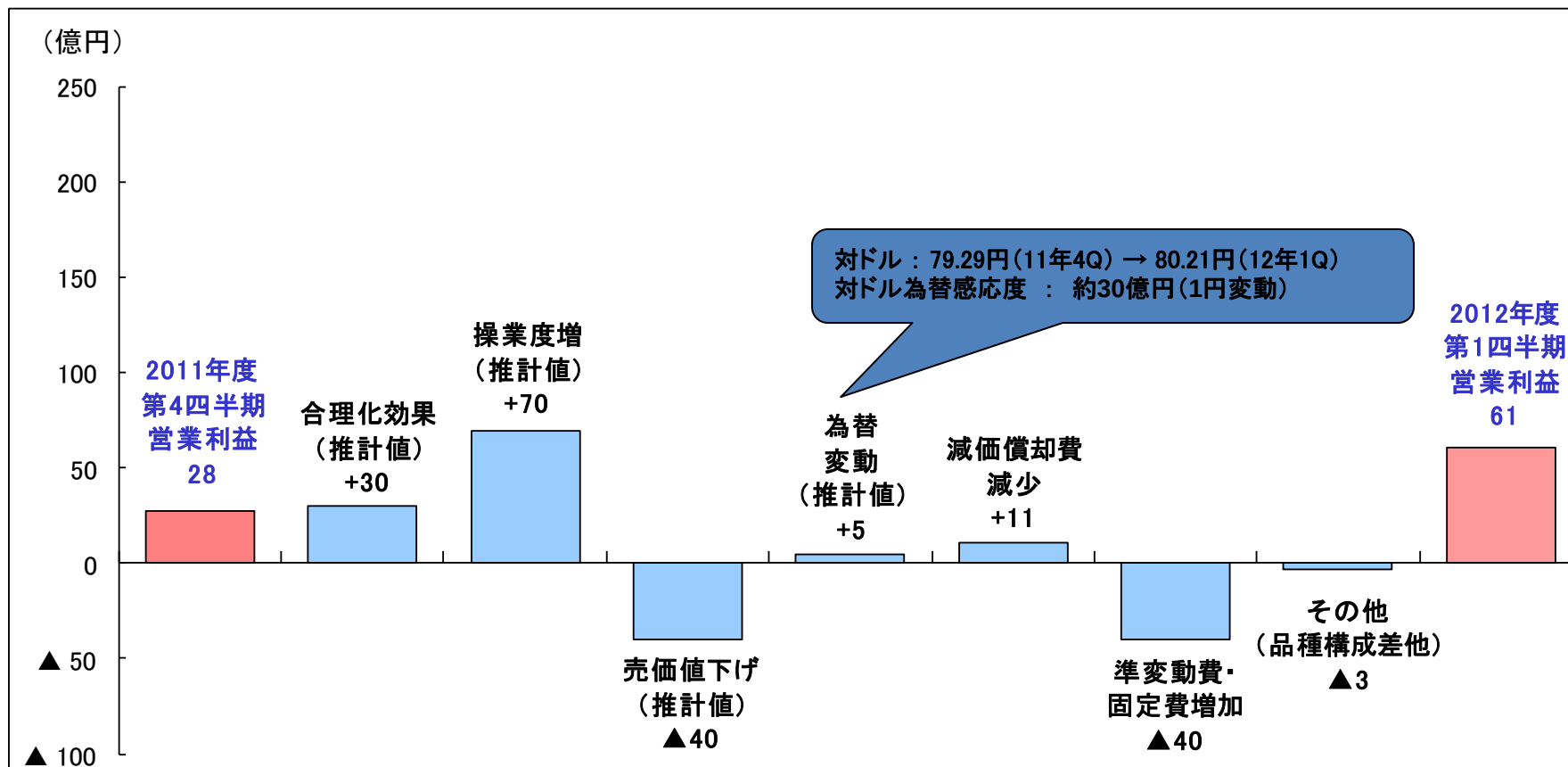
利益変動要因

(2011年度第1四半期→2012年度第1四半期)



利益変動要因

(2011年度第4四半期→2012年度第1四半期)



2. 2012年度 業績予想

製品別売上予想

	2012年度 第1四半期 実績	2012年度 第2四半期 予想 (12Q1比較)
	(億円)	
コンデンサ	524	+3%程度
圧電製品	191	▲3%程度
その他コンポーネント	303	+2%程度
通信モジュール	281	+85%程度
電源他モジュール	121	▲5%程度
計	1,420	+18%

用途別売上予想

	2012年度 第1四半期 実績	2012年度 第2四半期 予想 (12Q1比較)
	(億円)	
AV	109	+6%程度
通信	572	+42%程度
コンピュータ及び 関連機器	311	+4%程度
カーエレクトロニクス	231	横這い
家電・その他	197	▲6%程度
計	1,420	+18%

(注) 当社推計値に基づいております

2012年度上期の業績予想

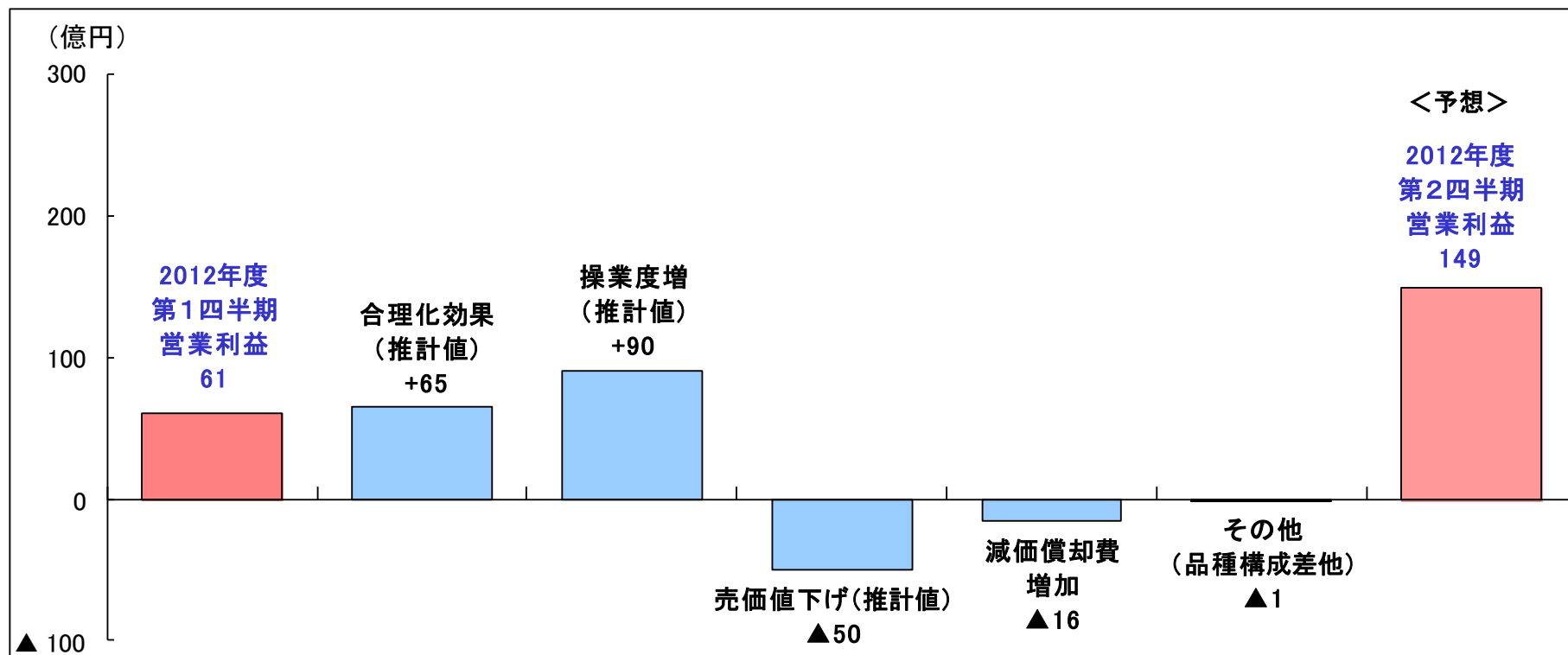
	従来予想	今回予想			増減	
	2012年度 上期予想	第1四半期 実績	第2四半期 予想	2012年度 上期予想		
	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(億円)	(%)
売上高	3,250	1,426	1,674	3,100	△150	△4.6
営業利益	330	61	149	210	△120	△36.4
税引前当期純利益	350	55	155	210	△140	△40.0
当期純利益	230	36	114	150	△80	△34.8

業績予想の前提

	従来予想 2012年度 上期予想	今回予想 2012年度 上期予想	
減価償却費	310億円	330億円	
研究開発費	230億円	230億円	
設備投資額	390億円	390億円	
為替レート(US\$)	80.0円/US\$	80.0円/US\$	2Q
為替レート(EUR)	105.0円/EUR	100.0円/EUR	2Q

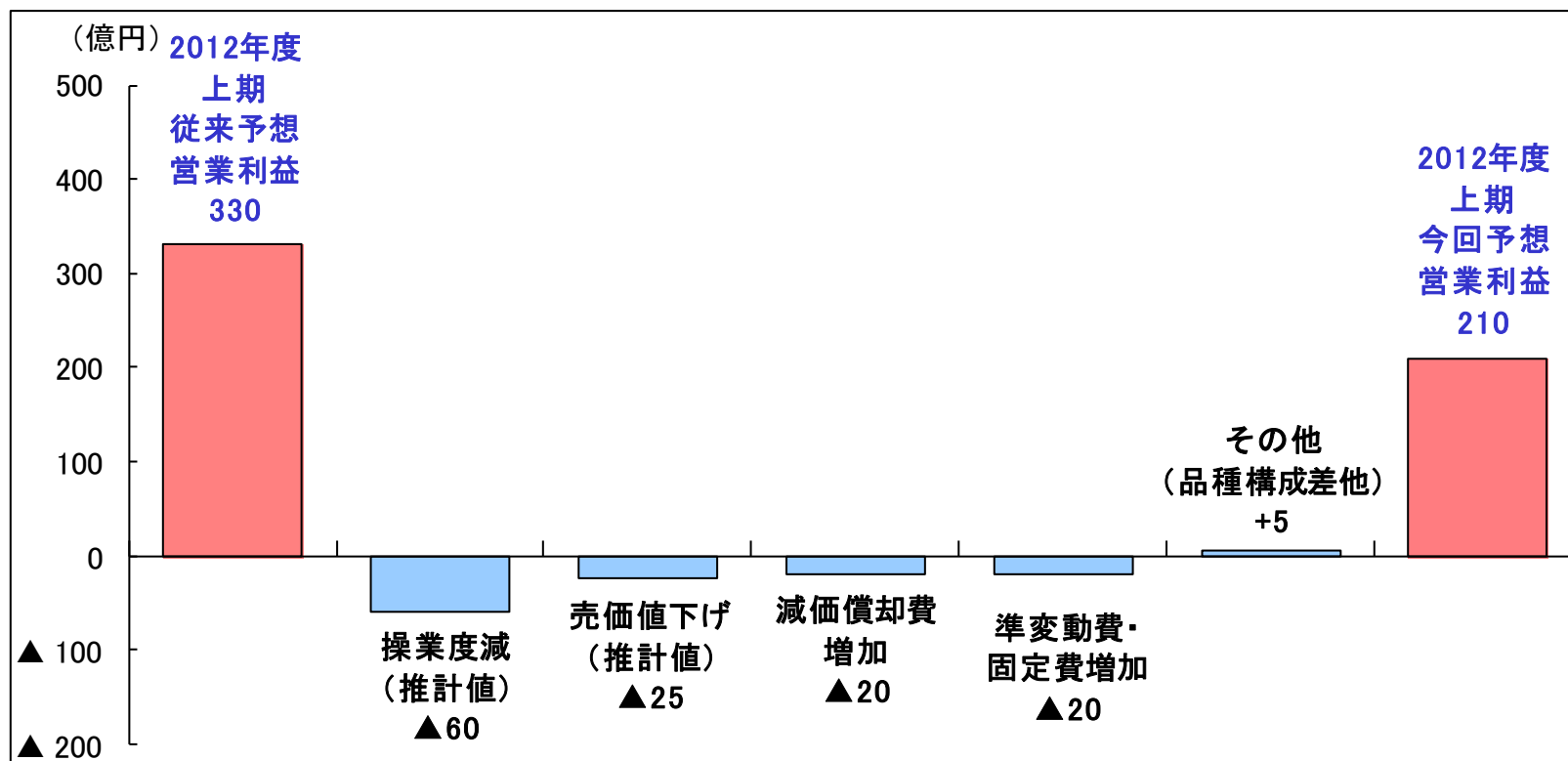
利益変動要因

(2012年度第1四半期→2012年度第2四半期予想)



利益変動要因

(2012年度上期 従来予想→2012年度上期 今回予想)



当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。